

あゆみ通信

VOL. 123

あゆみの会(真宗大谷
派大阪教区第2組同朋
の会)推進員連絡協議会
会長 浪花 博
広報 本持 喜康

皆で集まって例会で聞法を



2018合同研修会風景(南照寺)

今年の第1回例会は、恒例の門徒会との合同研修会です。

お寺での聞法が基本ですが、少しでも仏法の教える機会を作ろうと、第2組での聞法会等

と併せて、今まで単独で行ってきました。第2組門徒会と協議を重ねて、より多くの仲間の皆さんと、共に楽しく聞法できるように、合同の研修にしました。



今回は、17組、東大阪市の法観寺の広瀬俊先生(写真)にお話をお願いしました。第2組では、以前にも聞法会で広瀬先生にお話をいただきました。

先般は、東本願寺出版発行の月刊誌「同朋」2月号で「話芸に親しむ」というテーマで、

落語家の桂小春團治師匠と話されています。

ご期待ください。

あゆみの会第1回例会&第2組門徒会員研修大会合同研修会

日時 3月29日(金)

午後1時30分～3時

会場 法山寺

(阿倍野区天王寺町)

講題 「『恩』について」

講師 廣瀬 俊先生

第17組 法観寺住職)

参加費 無料

第46回近畿連区同朋の会推進研修会ご案内

「近畿連区」は大阪、長浜、京都、山陽、四国の5教区の推進員が年1回、住職、寺族、坊守方と共に1泊の研修会を行っています。他教区の推進員とも交流でき、今夏は大阪教区が当番で、宿泊せずに聴講のみでも参加できます。多数のご参加を乞う・

日程 2019年5月30日(木)～31日(金)

会場 ホテルセイリウウ
(東大阪市上石切町)

テーマ 真宗門徒の日々の生活
ーお内仏に向き合うー

講師 池田 勇諦先生

参加費 16000円

聴講のみは 8000円

参加申し込み 4/25までに

大阪教務所(06-6251-4720)

または浪花 博(06-6772-7931)

までご連絡下さい。

ひとは転ぶと石のせいにする。石が無ければ、坂のせいにする。そして坂が無ければ靴のせいにする。ひとは、なかなか自分のせいにはしない。

(ユダヤの格言から)

3月、春彼岸会法要を迎える。この言葉を即應寺の毎年の彼岸会法要で、講師の今は亡き藤園堅正先生(願久寺)から聞かされたのを懐かしく思い出している。折に触れて、いつも囁みしめている。(本)

他人事は我が事

最近の気になった事件は、親がせっかんして我が娘を死なせる。その原因を教育委員会や学校、児童相談所が作る。こんな理不尽なことが多い。その度に、怒り、そして歎き悲しむのであるが、しばらくすると、忘れていく。それほどいろいろな事件が相次いで起こるのだが。

他人事になっているのではないだろうか。

実は縁によっては、いつ、自分に起こるかは分からない。親鸞聖人も「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」と言われる。(「歎異抄」13条)

お釈迦様の言われる「縁起の法」である。

いつも、事象に怒りや悲しみを覚えている自分に、「あなたは、それで善いのか」と問われる声が聞こえてくるようだ。

その時、ふと「他人事は我が事」と、お聞きしたのを思い出している。

「聞くというのは信心を表わす御のりなり」とある。(本)